



大阪を変える100人会議 in 中之島公園 大阪プロレス×安全安心プロジェクト

オープンフォーラム×プロレス×防犯&交通安全啓発の新しい取り組み。どなたでも予約なしで参加できるイベントが盛りだくさん。地域のダンスチームによる万博ダンス披露もあるよ!



📅 11月5日(日)

📍 京阪なにわ橋駅アートエリア B1(中之島1-1-1)

● オープンフォーラム **要申込**

【時間】13:00~16:00

【テーマ】女性目線で考える

「いのち輝く地域社会の未来」

📄 ホームページにて受付

※残席があれば、当日受付あり

参加申込はこちら▶



📍 大阪を変える100人会議事務局

☎ 06-6443-5541

✉ osaka100ninkaigi@gmail.com

📍 中之島公園(中之島1)

● プロレス&ちびっこプロレス教室

【時間】①11:00~ ②12:00~ ③15:40~

● 警察音楽隊演奏

【時間】10:30~11:00

● 防犯&交通安全啓発コーナー

【時間】10:00~16:30

大阪を変える100人会議
ホームページ▶



希望校変更を受け付けます (市立小・中学校の学校選択制)

10月31日までに提出いただいた希望調査票の集計結果を、11月13日(月)に北区ホームページで公表します。また、「希望調査結果通知」を各ご家庭に送付します。通知をご確認のうえ、希望校に変更がある場合は、右記の日程で受付を行います。
※受付期間以外の希望校の変更はできません

📍 戸籍登録課 ☎06-6313-9963 📠06-6362-3822

【受付期間】11月14日(火)~20日(月) 9:00~17:30(金曜日のみ9:00~19:00)
【受付場所】北区役所1階戸籍登録課4番窓口(就学)

※窓口受付のみとなります
※お送りする「希望調査結果通知」をお持ちください



北区中学校社会科教員研修を実施しました

8月31日、大阪市立中学校教育研究会社会部の研修として、北区の中学校社会科教員11名がAmazon尼崎FCを見学しました。この施設は昨年3月に開設され、Amazonでは最新かつ西日本最大の物流拠点です。構内では「Amazon Robotics」と呼ばれる自走式ロボットなどの革新的なテクノロジーで商品が集配されている過程を見学することができました。また、代表の方より企業理念や社会貢献等について説明していただき、企業の在り方や働き方についても貴重な

学びを得ることができました。

心温まる対応をしていただいたAmazonのすべての方に感謝します。

大阪市立新豊崎中学校 小野寺 健



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs④

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。

特定非営利活動法人
Sunny ones (サニーワズ)



理事長の瀧澤美紀さん

障がいがあってもなくても みんなが輝ける社会に

障がいのある子どもや子育て中の家族に寄り添い、サポートしよう関西を中心に活動しています。

始まりは2012年、理事長の瀧澤美紀さんの娘がダウン症と診断されたのがきっかけでした。「とにかく育てなければと必死で」。同じ境遇の人に会いたいと保健師に懇願し、4人での対面が実現しました。話は尽きることなく、「来月、ランチしよう」。その仲間は半年で20人ほどに増えました。ダウン症の人は21番目の染色体が通常より1本多い3本あることで「321」、そして太陽のように輝いてほしい、そんな思いを込め「Sunny ones」を発足しました。

18年に法人化し、障がいの有無や種類を問わない活動へと幅を広げました。0歳から11歳までの子どもがいる約80家族が在籍。月1回、北区社会福祉協議会で開く定例会は出入り自由で、悩みを語り合ったり情報交換をしたり。パーベキュー、クリスマス会などのイベントも盛んです。瀧澤さんは「同じ境遇でなくても、同じ気持ちの人が集まり、面白いことをしようと広がってきた10年」と振り返ります。

最近、気掛かりなことがあります。コロナ禍でオンラインが浸透し、人に会わなくてもできることが増えました。SNSの中で子育てのネガティブな情報ばかり受け止めて、追い詰められている人がいるのではないかと。

11歳になった娘は地域の小学校でゆっくり成長し、「私も不自由はありません」と瀧澤さん。「それは仲間がいたからです。だから一人で抱え込まず出てきてほしい。何でも相談してほしい」と話しています。

✉ nposunnyones@gmail.com



地域のイベントにも積極的に参加する

📍 ホームページ▶



あなたの夢は? 22世紀に残る 商店街を設計したい



岸上純子さん

大阪駅北の高層ビル街から約10分。木造長屋が密集する一角に、中津商店街があります。全長約200m。覆いのないアーケードの鉄骨越しに、秋空が広がります。

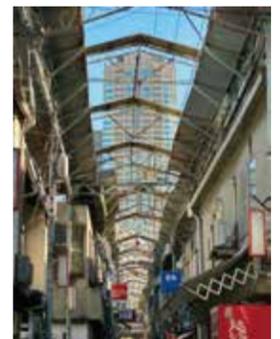
中津商店街の中ほどの2棟を、岸上さんが夫と共同で営む事務所兼自宅として購入したのは2015年。シャッターを閉めた店が並んでいました。「学生時代、この辺にはよく遊びに来たので、寂れているのが気になっていて。私が拠点を作るこ

とで盛り上げられたら、と考えたのです」

築100年を超える長屋を2年半がかりで改修。その様子を地域の人に見てもらい、交流しながら進めました。完成した事務所「SPACE SPACE」は全面ガラス張り。シャッターとは対極にある開放感です。休止していた商店会の再開にも動きました。17年の台風でアーケードのテントが破損。「危ないのでは何かしませんか」と声を掛けました。19年夏、あえて骨組みを残してテントを撤去。商店街の中に高層ビルが姿を現し、日が差し込みました。

地域やPTAの役員など、いろいろな役を引き受けてきた岸上さんですが、それらの活動の中でも、建築家として何ができるかを常に意識しています。「まちづくりってソフト面によりがちですが、設計することが人をつなぐ。そこにはこだわります」。その先に、「22世紀に残る商店街を設計したい」と夢を語ります。

商店会を再開した時、42軒だった会員は57軒になり、残る空き家は1軒。レトロでおしゃれな店も増え、週末は若い人でにぎわいます。商店街に人を呼ぼうと月に1回、事務所前で屋台を開いてきましたが、「そろそろ役割は終わったかな」。次に考えているのは常設の立ち飲み店。隣の空き店舗を購入し、20年ぶりにシャッターを開けると、「多忙飯店」の看板が現れました。店名はそのままに、人が集い発信する場として、来春オープンをめざします。



アーケード越しに
グランフロント大阪が見える

北区の
魅力は?

人も建物も新旧が混ざり合っている

SPACESPACEのホームページ▶

夢・キタ・ひと ⑱

建築家 岸上純子さん

